

認知症の家族を 介護されている方へ

中央区の地域包括支援センターでは冊子「認知症の家族を介護されている方へ」を作成しました。冊子を通じて、認知症の理解を深め、介護について相談できる場所がある、つながる場所があると知っていただけたらと思います。

こんな時
どうする？

どこに相談
すればいい？

配布場所 中央区地域包括支援センター・
中央区北部地域包括支援センター等
※中央区社会福祉協議会の
ホームページ、QRコードからでも
ダウンロード可能です。



令和3年度
中央区
PTA地域教育
活動研修

ひょっとしたら 発達障がい？

～本人も周りの方も幸せに暮らせる方法とは～

発達障がいとは診断されていないけど、周りとうまくなじめない。発達障がいとは何なのか、正しい理解と支援を学び、発達障がいをもつお子さんが日常で感じる「困った!」や、ご本人やご家族、周囲の方ができる工夫、「発達障がい＝マイナスなこと」ではなく、本人の特性をのばしていけば本人も周囲も幸せに生きていけるということの実例について学びます。

- と き** 11月24日(水)
14:00～15:30(受付13:30～)

と ころ 中央区役所 7階会議室(中央区久太郎町1-2-27)

対 象 どなたでも(保護者向けの講座です)

定 員 50名(電話にて先着順)

講 師 大阪市発達障がい者支援センター
所長 井上 芳子

参加費 無料

申込み 11月19日(金)までに電話でお申し込みください。
手話通訳を希望される場合は11月15日(月)までに申し込みください。

備 考 参加時はマスクのご着用や手指消毒など新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

**申込先・
問合せ** 〒541-8518 中央区久太郎町1-2-27
市民協働課(市民活動支援・教育)5階53番 ☎6267-9743
-

※この事業はPTA地域教育活動研修として実施しますが、PTAに関係のない方でもご参加いただけます。



これまでも、これからも、 この大阪のまちで!

『大阪環状線～つながって60年～』

JR西日本では、今年大阪環状線開業60周年となることを契機に、地域の皆様とも連携しながら大阪環状線の歴史や大阪のまちの魅力を発信し、より多くの皆さまに笑顔になっていただける取り組みを展開しています。

大阪環状線の歩み



大阪環状線開通式:弁天町駅

1961(昭和36)年4月25日
大阪臨港線の境川信号所と西成線の西九条駅との間がとなり、大阪環状線が開通しました。しかしこの時はまだ路線が繋がっておらず、西九条駅に地上と高架にホームがあり、乗り換えが発生していました。

1964(昭和39)年3月22日
西九条駅の高架工事が完成し、現在の環状運転がスタートしました。この時、天王寺～大正間に新今宮駅が開業しました。大阪環状線は天王寺～今宮間で関西本線と線路を共有しており、旅客輸送量増加に伴う列車の増発に大きな支障があったため、1964(昭和39)年10月に大阪環状線と関西本線を完全に分離する工事を着手、1968(昭和43)年3月22日に竣工し、現在の線路の形が作られたのです。また、分離工事中であった1966(昭和41)年4月には芦原橋駅が開業、12月には南海電鉄新今宮駅も開業し、ますます便利になっていきました。

大阪環状線 中央区の駅 まめ知識



1970年頃:森ノ宮駅

森ノ宮駅
1932(昭和7)年4月21日、鉄道省城東線の中に新設開業しました。現在の駅舎はホーム上のコミュニケーションスペースに木目調の壁・床が導入されたり、大阪城公園の樹々とのつながりをイメージして駅の正面玄関の外壁が天然の緑で緑化されるなど森をコンセプトとした改良がおこなわれています。

大阪城公園駅
1983(昭和58)年10月1日、大阪城築城400年まつり開催に合わせ開業しました。大阪環状線の中ではもっとも近年に新設開業した駅です。大阪城ホルの最寄り駅として、イベント時には多くの旅客でにぎわいます。この駅の発車メロディは、戦国時代の戦を象徴する大坂の陣をイメージさせる「法螺貝」が採用されています。

大阪環状線の歴史紹介や60周年企画の他の取り組みは、JRの特設WEBサイトでも紹介しています。
詳しくは「大阪環状線60周年」でご検索ください!

JR特設サイト▶

